

# 強い農業づくり交付金の概要 及び平成27年度計画

## 強い農業づくり交付金

【23,085(23,385)百万円】  
(平成26年度補正予算 17,600百万円)

### 対策のポイント

国産農畜産物の安定供給・輸出拡大のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な共同利用施設の整備等を支援します。

### <背景/課題>

- ・「強い農林水産業」を実現するため、生産基盤の整備により、農業の収益力等を強化することが喫緊の課題です。
- ・このため、消費者・実需者の需要に応じて、国産農畜産物を安定的に生産・供給するとともに、輸出を拡大する産地体制等を構築する必要があります。

### 政策目標

- パン・中華めん用小麦品種の作付シェア増大  
(7%(平成20年度)→19%(平成32年度))
- 1中央卸売市場当たりの平成20年度における取扱金額(557億円)を平成27年度まで維持 等

### <主な内容>

#### 1. 産地の収益力の強化とリスクの軽減

高付加価値化や生産コストの低減など、産地の収益力強化や合理化を図る取組に必要な共同利用施設の整備や再編を支援します。

また、気象災害等産地を弱体化させるリスクの軽減を図る取組に必要な被害防止施設や堆肥等生産施設等の整備を支援します。

さらに、「攻めの農業」の実現に向け、農畜産物輸出に向けた体制整備、新品種・新技術等を活用した「強み」のある産地形成、集出荷・処理加工施設等の再編合理化を、優先枠を設置することにより積極的に支援します。

#### 【優先枠の例】

- ・ 輸出先国の求める衛生条件等を満たすために必要な施設の整備
- ・ 産地における新品種の種苗確保に向けた生産体制の整備
- ・ コスト低減に向けた乾燥調製施設、産地食肉センター等の再編 等

#### 2. 安全で効率的な流通システムの確立

食料の安定的な供給体制等を確保するため、中央卸売市場における低温卸売場などの施設の整備や卸・仲卸業者等が組織する事業協同組合等による市場活性化のための施設の整備等を支援します。

（ 交付率：都道府県へは定額（事業実施主体へは事業費の1/2以内等）  
事業実施主体：都道府県、市町村、農業者の組織する団体、事業協同組合等 ）

#### お問い合わせ先：

1の事業 生産局総務課生産推進室 (03-3502-5945)  
2の事業 食料産業局食品製造卸売課 (03-6744-2059)

# 強い農業づくり交付金

平成27年度予算概算決定額: 23,085(23,385)百万円  
(平成26年度補正予算: 17,600百万円)

国産農畜産物の安定供給・輸出拡大のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な共同利用施設の整備等を支援。

## 補助対象:

### ① 共同利用施設等整備

乾燥調製施設、集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設、生産技術高度化施設、家畜市場、畜産物処理加工施設、小規模土地基盤整備、飼料作物作付条件整備 等

### ② 卸売市場施設整備

売場施設、貯蔵・保管施設、駐車施設、搬送施設、衛生施設、情報処理施設 等

## 交付率:

都道府県へは定額（事業実施主体へは事業費の1/2以内等）

## 事業実施主体:

都道府県、市町村、農業者団体等

## 交付先:

国 ⇒ 都道府県

## 事業の流れ



## 支援メニュー

- 1 産地収益力の強化  
各品目の生産性向上等の取組に必要な共同利用施設の整備を支援
- 2 産地合理化の促進  
産地の集出荷、処理加工体制の合理化に必要な共同利用施設の再編等を支援
- 3 気象災害等リスクの軽減  
気象災害等産地を弱体化させるリスクの軽減に必要な共同利用施設(被害防止施設等)の整備を支援
- 4 食品流通の合理化  
安全で効率的な市場流通システムの確立に必要な卸売市場施設の整備を支援

## 優先枠の設定

- ① 農畜産物輸出に向けた体制整備【20億円】  
輸出先国の求める衛生条件等を満たすために必要な施設の整備を支援
- ② 「強み」のある産地形成に向けた体制整備【20億円】  
新品種・新技術等の導入により、需要に対応した産地の形成に必要な施設の整備を支援
- ③ 集出荷・加工の効率化に向けた再編合理化【20億円】  
高収益な産地体制への転換を図るために、集出荷・処理加工施設等の再編合理化を支援

## 平成27年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）計画の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
三豊市	三豊地区	香川県農業協同組合	平成27年度

### 事業計画の概要

#### （課題）

高瀬地区は、温暖小雨の瀬戸内式気候を活かして、丘陵地を中心に「もも」「ぶどう」「かき」並びに「キウイ」等(以下「もも等」という)の落葉果樹産地を形成している。

「もも等」は、高瀬及び香川麻撰果場で集荷・共同選果を行い、卸売会社との契約取引を推進するほか、高品質果実は「さぬき讚フルーツ」としてブランド化を図り、有利販売を行っている。

しかしながら、両選果場に設置する非破壊式選果機のうち、内部品質を測定する「近赤外線測定装置」は果皮付近の糖度しか計測できない「反射型」であることや外観品質を測定する「カラーグレーダー」を設置していないため、果実全体の品質計測が出来ず、品質の高位平準化を求める実需者ニーズへの対応が遅れている。

また、優良品種への新・改植により、今後、生産量の拡大が見込まれる中、両選果場は老朽化が進むとともに予冷庫などの鮮度保持に必要な施設が整備されておらず、契約取引を拡大するうえでの課題となっている。

#### （計画内容）

非破壊選果機の機能強化により、出荷品の品質を安定させ、消費者（実需者）ニーズに対応した高品質果実のブランド化を進めるとともに、選果場の再編・統合及び鮮度保持に必要な施設整備を行い、県内外の実需者との契約取引を拡大させ、生産者の経営安定を図る。

具体的には以下のとおりである。

①高瀬地区における「もも等」の集荷及び共同選果を「高瀬選果場」に再編・統合するとともに、集荷から出荷に至るまでの鮮度低下を防止するため、「定温保管施設」及び「予冷庫」を整備して、契約取引の拡大を図る。

②非破壊選果機は、「近赤外線測定装置」を果実内部が計測できる「透過式」に機能強化するとともに、外観品質を測定する「カラーグレーダー」を新たに整備することで、果実の形状や着色などの外観品質の測定や糖度の測定精度の向上を図り、安定した品質の果実の出荷を行う。

③また、非破壊選果機の機能強化に伴い、「さぬき讚フルーツ推奨制度」における認定生産者の認定基準を満たす「JA高瀬支店もも部会」等を新たに認定生産者に追加することで、ブランド品の作付割合を拡大する。

④なお、選果データは、生産者への指導に活用し、品質向上に向けた助言を行うとともに、優良品種の新・改植を促す

### 施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
落葉果樹 集出荷貯蔵施設	83	347	151,200,000	59,135,000	集出荷貯蔵施設 ・非破壊選果機 一式 ・予冷庫 1基 ・低温保管施設 192 m <sup>2</sup>

### 期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	概要
ブランド産品の出荷割合の増加	53.8%			75.3%	ブランド産品の出荷割合を21.5%増加
契約出荷割合の増加	35.7%			51.5%	契約出荷の割合を15.8%増加

平成27年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）計画の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
坂出市	坂出中央地区	香川県農業協同組合	平成27年度

事業計画の概要

（課題）

坂出中央地区では、近年、水田裏作として、レタスやブロッコリーの作付けが急速に拡大している。しかし、レタスは急速な生産拡大により、出荷のピーク時には既存の集出荷場の処理能力を上回るため、新規の作付け制限とピーク時の荷受量の制限があり、穫り遅れレタスの圃場廃棄が発生している。また、ブロッコリーは専用の集出荷場がないため、他作物の集出荷と重なり大変混雑するうえ、ピーク時には鮮度を保つための氷や予冷スペースが不足して、品質の低下が問題になっている。

（計画内容）

（レタス）

集出荷場を新たに整備し、出荷調製ラインを3ラインから7ラインに拡充する。

これにより、荷受量の制限がなくなり、ピーク時の穫り遅れを防いで単収の増加と担い手によるレタスの作付拡大が図られる。

（ブロッコリー）

これまでレタスで使用していた施設をブロッコリーの荷受場として活用し、予冷库や製氷機を拡充。

これにより、生産者の荷受け時間のロスを収穫作業に充てることができ、適期収穫が実施されるとともに、ピーク時の氷や予冷スペースの確保により、鮮度を保ったまま出荷調整が実施できるため、品質の向上が図られる。

施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
野菜 集出荷貯蔵施設	(レタス) 75 (ブロッコリー) 180	(レタス) 15 (ブロッコリー) 80	241,660,368	94,514,000	集出荷施設 1,356 m <sup>2</sup> 調製包装施設 一式 予冷施設 144 m <sup>2</sup> 製氷機 1基 (2トン)

期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	概要
(レタス) 10a当たりの販売額	577,610 円/10a			669,840 円/10a	販売額の増加割合を 16.0%増加
(ブロッコリー) 秀品L階級の割合	62.7%			78.3%	秀品L階級の割合を15.6 ポイント増加